



第1回 大河ドラマ「風林火山」をめぐる 平成18年9月19日  
 講師/佐倉 一徳さん NHK長野放送局企画総務部副部長  
 樋口 博さん 長野市産業振興部観光課課長

第2回 もっと楽しくて、元気な街づくりを 平成18年10月23日  
 講師/久米 えみさん ながのクラッセ会長  
 樋口 敦子さん ながのまちづくりカフェメンバー

第3回 スポーツによる街づくりを 平成18年11月21日  
 講師/鷺沢 幸一さん アスレながの事務局局長  
 室賀 豊さん 長野市アイスホッケー協会理事

第4回 写真で見る長野の街並み 平成19年1月23日  
 講師/清水 隆史さん フォトグラファーほか 常盤 昭二さん CMディレクター

第5回 健康と美容を保つために 平成19年3月22日  
 講師/虎羽里(トラバリ)ゼーラさん アーユルヴェーダ・健康セラピスト

第6回 環境と街づくり ばていお大門・TOIGOの設計に参画して 平成19年4月23日  
 講師/竜野 泰一さん 株式会社エーシーエ設計 取締役副社長 [一級建築士]

第7回 信濃グランセローズの挑戦 平成19年5月21日  
 講師/木田 勇さん 信濃グランセローズ監督

第8回 スポーツマンシップの大切さ 平成19年8月29日  
 講師/荻原 健司さん 参議院議員・五輪金メダリスト

第9回 トウガランの尽きせぬ魅力/「農」による地域活性を探る 平成19年10月24日  
 講師/松島 憲一さん 信州大学大学院農学研究科 准教授

第10回 命のバトンを渡す「ピオトープ」/長野市をピオトープネットワークシティに 平成19年11月14日  
 講師/松岡 保正さん 国立長野工業高等専門学校 環境都市工学科教授

第11回 簡単・おいしい・オシャレ/わたしのレシピができるまで 平成20年3月26日  
 講師/浜 このみさん クッキング・コーディネーター

第12回 あなたのからだは「薬何年」ですか? 平成20年7月14日  
 講師/角本 浩二さん バランスアドバイザー 長野県健康管理士会会長

第13回 アメリカ生活で感じたあれこれー変化に対して前向きになることの大切さー 平成20年8月19日  
 講師/針谷 友久さん 東京中小企業投資育成株式会社 主任(長野県担当)

第14回 市役所第一庁舎及び長野市民会館の在り方を考える 平成20年9月16日  
 講師/水野 守也さん 長野市総務部次長 兼庶務課長

第15回 長野/バルセイローー優勝報告&JFL昇格への挑戦 平成20年10月29日  
 講師/バドゥ・ビエイラ監督、薩川了洋コーチ、貞富信宏キャプテン

第16回 農業再生とブランド化 平成20年12月3日  
 講師/町田 良夫さん 社団法人長野市農業公社 常務理事

第17回 地上の楽園は馬の背にあり 平成21年2月18日  
 講師/中山 修さん 中山法律事務所 弁護士

第18回 循環備蓄型の農業の実践ー宇宙のリズムにあった農業で一次産業の再生を試みるー 平成21年6月3日  
 講師/塩澤 研一さん (財)いのちの森文化財団副理事長 (株)水輪ナチュラルファーム代表取締役

第19回 郷土を包む「おやき」 平成21年7月14日  
 講師/小出 陽子さん (同)ふぎっ子のお八起 代表/信州おやきブランド化委員会 研究会リーダー

第20回 信州の伝統から生まれる食文化ー漬物の新しい風ー 平成21年9月2日  
 講師/宮城 恵美子さん (有)宮城商店専務取締役/木の花屋

第21回 飯綱高原を、もっと住みよく、おもしろく! 平成21年11月24日  
 講師/志村 雅由さん NPO法人 飯綱高原よっこらしよ/代表理事

第22回 JFL昇格に向けて 平成22年3月17日  
 講師/薩川了洋さん AC長野バルセイロ新監督

第23回 先人の知恵を受け継ぐ〜トチの実、雑穀、あんぼ〜 平成22年5月25日  
 講師/石沢 一男さん (有)田舎工房 代表取締役

第24回 3度目でつかんだオリンピック出場 平成22年7月28日  
 講師/新谷 志保美さん バンクーパーオリンピック代表 (株)竹村製作所 勤務

第25回 逃げないスケルトン ～夢と感動と勇気を～ 平成22年9月15日  
 講師/越 和宏さん スケルトン競技3大会オリンピック日本代表 (株)ンステックス所属

第26回 Go to J ～Jを長野に…いよいよ地域決勝大会!～ 平成22年10月25日  
 講師/鈴木 政一さん 長野バルセイロ・アスレチッククラブ強化本部長

第27回 グランドデザインの視点で「信州の食」を考える 平成22年11月30日  
 講師/千村 尚司さん 千村ブレイン代表・ソムリエ

第28回 ご利益のある町づくり 平成23年1月26日  
 講師/川崎 史郎さん フリーライター・市民記者ネット代表

第29回 防災と危機管理 平成23年6月1日  
 講師/安藤 長一さん 篠ノ井消防署署長・緊急消防援助隊長野県隊長(第二次派遣隊)

第30回 江戸のエコロジストー茶ー 平成23年8月30日  
 講師/マブソン 青眼さん 俳人・比較文学者

第31回 Waを生かしたまちづくり 長野はもっと元気になる 平成23年9月28日  
 講師/井上 裕子さん 信濃毎日新聞社編集局地域活動部長・編集委員

第32回 メディアから見た長野 平成23年10月19日  
 講師/田幸 淳男さん 信越放送取締役相談役

第33回 旅の楽しさと長野の魅力で世界をむすぶ 平成24年1月31日  
 講師/飯室 織絵さん 観光客向けゲストハウス「1166バックパッカーズ」運営

第34回 神輿で街の元気を呼び覚ませ 平成24年2月28日  
 講師/相原 哲さん ながの町神輿連合会武蔵会 会頭

第35回 長野とオリンピックレガシー 平成24年3月26日  
 講師/小林 亨さん 日本オリンピック委員会(JOC)勤務

第36回 すべてが一丸となって ながのの宝もの。をJへ 平成24年4月24日  
 講師/薩川了洋さん AC長野バルセイロ監督

第37回 信州の野鳥たち 平成24年8月31日  
 講師/小宮山 義光さん 日本野鳥の会長野支部会員

第38回 見る 学ぶ 体験する 自然農法 平成24年9月27日  
 講師/塩澤 研一さん 農業生産法人水輪ナチュラルファーム代表取締役/(財)いのちの森文化財団 副代表理事

第39回 善光寺表参道と中心市街地のWi-Fi計画 平成24年10月25日  
 講師/俣田 達男さん NTT東日本 長野支店長

第40回 しなの鉄道長野以北延伸と営業戦略 平成24年12月6日  
 講師/山田 隆さん しなの鉄道(株) 専務取締役

第41回 自然との共生 平成25年2月28日  
 講師/藤岡 牧夫さん イラストレーター・絵本作家

第42回 花は人を育てる 平成25年4月9日  
 講師/矢澤 秀成さん 園芸研究者/ながの花と緑そして人を育てる学校校長

第43回 人と組織の笑顔の創造 平成25年5月31日  
 講師/近藤 京子さん カウンセラー/NPO法人「わくわく志事研究所」所長

第44回 信州の分水嶺 ～山と川と里～ 平成25年8月22日  
 講師/栗田 貞多男さん 写真家

第45回 長野市の魅力と不動産取引の発展性 平成25年11月20日  
 講師/鶴志田 明弘さん 野村不動産アーバンネット株式会社 企業不動産部専任部長

第46回 地域におけるバイオマス利活用について 平成26年1月29日  
 講師/天野 良彦さん 信州大学工学部物質工学科教授

第47回 AC長野バルセイロー私のチームマネジメントについて 平成26年3月3日  
 講師/美濃部 直彦さん AC長野バルセイロ監督

第48回 わたしにとってのボランティア 平成26年4月16日  
 講師/丸田 勉さん 脚本・演出家 森の家 林りん館館長

第49回 金沢の未来と長野へのエール 新幹線で結ぶ金沢と長野の絆 平成26年5月26日  
 講師/浅野 邦子さん 株式会社 筈一 代表取締役会長

第50回 取材を通してみた長野の魅力 ～長野をもっと元気に!～ 平成26年10月8日  
 講師/平沢 幸子さん 長野朝日放送 アナウンサー

第51回 チームマネジメント 平成27年1月19日  
 講師/本田 美登里さん AC長野バルセイロ・レディース監督

第52回 本物のおもてなし ～加賀屋の経営理念とビジョン～ 平成27年3月17日  
 講師/小田 與之彦さん 株式会社加賀屋 代表取締役社長

第53回 地域の元気をつくる「成長企業」は、ここが違う!～地方の中規模企業が成功するための法則とは?～ 平成27年7月1日  
 講師/廣井 紀文さん 株式会社ディーテス 代表取締役社長

第54回 長野から宇宙へ! ～ローカル企業のチャレンジ～ 平成27年8月25日  
 講師/羽生田 豪太さん 株式会社羽生田鉄工所 代表取締役

第55回 食を通じて発見 知られざる長野の魅力! 平成27年10月8日  
 講師/中島 麻希さん 1級フードアナリスト

第56回 摩訶不思議! 長野の神社の靈感の世界 平成27年11月17日  
 講師/齋藤 安彦さん 宮司

第57回 大河ドラマ「真田丸」の舞台裏 ～撮影を通して見た信州の魅力～ 平成28年4月2日  
 講師/屋敷 陽太郎さん NHKチーフプロデューサー

第58回 真田丸の時代を語る ～時代考証の舞台裏 平成28年7月2日  
 講師/平山 優さん 歴史研究者

第59回 寺町商家の運営で気づいた\*食。の力 平成28年8月30日  
 講師/西村 知子さん 寺町商家運営アドバイザー

第60回 地域から社会を変えよう! 行動する人の集まる港CREEKS 平成28年11月11日  
 講師/広瀬 毅さん 株式会社CREEKS 広瀬毅建築設計室代表

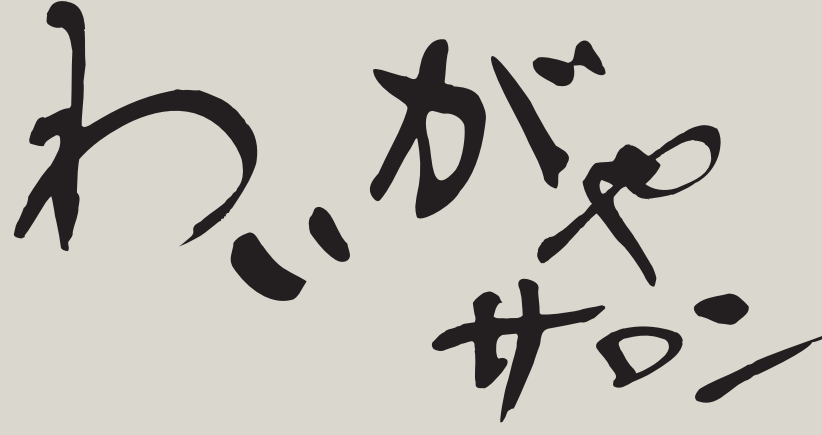
第61回 長野バルセイローー今シーズンの目指すチームづくり 平成29年3月13日  
 講師/浅野 哲也さん AC長野バルセイロ監督

第62回 輝く女性の活躍で長野県の企業を更に魅力的に! 平成29年5月30日  
 講師/中島 恵理さん 長野県副知事



**NUPRI**  
 Nagano Urban Policy Research Institute

**NPO法人 長野都市経営研究所**  
 〒380-0834 長野市大字鶴賀問御所町1289-1丸本ビル2F  
 TEL.026-235-7911 FAX.026-235-6166  
 www.nupri.or.jp e-mail:nupri@nupri.or.jp



# 通信

Vol. 63  
 2017.7



久米路橋(長野市信更)



NPO法人 長野都市経営研究所

## 第63回

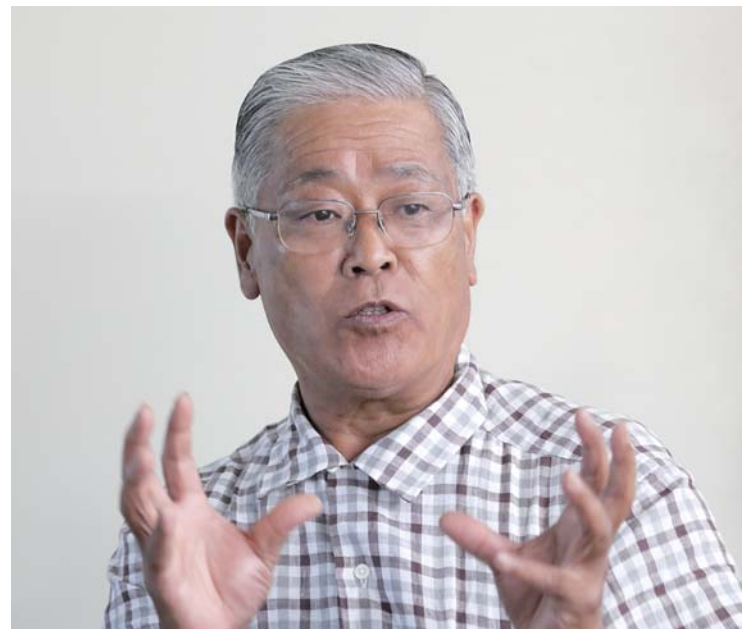
## 信州は橋の都 千曲川と犀川に架かる名橋／日本一美味しい飯山のお米

平成29年7月19日(水) 18:00~19:45

講師／服部 秀人さん

信州・橋の日推進協議会専務理事/エコファーマー

■座長:岩野 彰 場所/NUPRI事務所



はっとり ひでと 1946年、下水内郡外様村(現・飯山市)生まれ・在住。国立長野工業高等専門学校名誉教授。71年、国立長野工業高等専門学校 土木工学科助手。94年、同 環境都市工学科教授(橋工学、耐震工学、測量学等を担当)。2007年の退職後は外様地区公民館長、飯山市同(〜15年)を務めつつ農園経営。長野県知事認定エコファーマー。信州・橋の日推進協議会専務理事、中国老橋研究会理事。土木・橋関係の共著多数。

した。ちょうどそのころ「信州・橋の日推進協議会」なる団体がスタートすると知り、事務局に企画展冊子(「飯山の橋 いまむかし」)をお届けしたのが縁でお仲間に入れていただくことになったのです。

## 信州の橋々

信州には5千の橋があります。今日は県北部にある名橋を幾つかご紹介します。犀川:県歌「信濃の国」にも登場する久米路橋(長野市信更)、景勝地・山清路に架かる山清路橋(生坂村)はまさに山紫水明、一幅の画です。ともにコンクリートアーチ橋で、久米路橋には鉄平石の装飾が施されています。千曲川:昭和橋(坂城町)は中島武設計によるS12当時世界初の鉄筋コンクリートローゼ橋。信州各地に美しい永久橋があるのは昭和初期に彼が長野県技師を務めたお陰です。ヨシズの風雪除けが冬の風物詩だった中央橋(飯山市)は6連のアーチからなるランガー桁橋でした。老朽・治水のため架け替えた新中央橋は長野県の道路では初めての橋の桁高を小さくできるエクストラドーズ形式、両側歩道、雪氷落下の危険がない設計。設置位置等について市と地元住民が話し合った合意案を県が取り込むという段階を踏んだことも画期的でした。溪谷にある高井橋(高山村)やなべくら大橋(飯山市)は四季を通じたビューポイント。

信州の橋の魅力は、山国地形がために考えられた設計が背景の山々・盆地とマッチしていることにあります。[橋の形式と力学、平野部の橋、九州の石橋、海外の橋等々も紹介/それぞれの橋にそれぞれの物語がある。]

## インフラの使命

橋をはじめとするインフラは人が人らしく暮らすための生命基盤です。インフラの使命は長寿命化。ローマ水道橋、ご存じですよね。フランスのルイ王朝は維持修繕できず無用の長物としてしまいました。このことから分かるようにメンテナンス技術の継承

酷暑と豪雨がジグザグに押し寄せた7月中旬のわいがやサロンは、飯山市より服部秀人さんをお招きし、信州の橋の魅力と農園経営者としてのお話をうかがいました。

## 土木・橋との出会い

農家の長男坊だった私は幼い時から爺婆・両親からの刷り込みで当然農業で生きていくつもりでいました。昭和35、6年頃のことですが、それまで農業高校へ行けと言っていた父が「これからの時代は農業では厳しい。土木へ行け」。父の進言に従い工業高校に入って出会ったのが橋。好きになってしまった。ところが3年生になっても橋の設計図が引けない。悔しい。橋梁について本格的に学びたくて土木工学科のある東京の大学へ。職も橋工学等の研究・教育(国立長野工業高等専門学校)に携わってこれたのです。

退職後は公民館長を仰せつかった関係で「飯山市ふるさと館」から地元の歴史文化を掘り起こすことをやりたいが、という相談を受け、私が専門としてきた橋という生活必需品に焦点を当てたらどうかと提案。飯山の橋の現状と変遷を眺める企画展開催となりま

は大切に、それは人、にかかっています。関東大震災復興の父・後藤新平は人を生かす達人、かつ現場第一主義でした。隅田川の橋がほとんど焼け落ちたのを見て田中豊・太田圓三という2人の若い技術者を登用し「長寿命化に金をかけよ」と蔵前橋・勝鬨橋等々の橋梁を造らせさせました。後藤の精神が生かされて隅田川に架かる橋たちは守られています。

## 美味しいお米を作って高く売ろう。

勤めている間、我が家はいわゆる三ちゃん農業。早朝、休日は田畑に出ました。好きな農業に早くシフトを移したくも妻子を養わねばならない。日本の平均給与は右肩上がりしていきましたが、米の価値は下落する一方でした。S35ころの米価は米1俵が高卒初任給ほど、H27はS35の1/12です。昔から農家は(政府・農協に)米を買っていただくものでした。しかし米も自由化されました。職を辞したら「美味しい米を作って高く売ろう」と、実行する日を心待ちにする日々でした。

退職帰農して9年目、「2015年米・食味分析鑑定コンクール(米・食味鑑定士協会主催)」総合部門金賞受賞! 5千を超えるエントリーの中から41人が入賞。内11人が長野県内で、県としてトップ。この数字をみても長野県が日本一美味しい米を産する県と言っているいいですね。そして金賞受賞者18人の内訳は飯山市3人(小生含む)、木島平2人、小諸市1人、群馬県4人…。新潟・魚沼、北信州・飯山、群馬県北部、この三角形エリアは日本一美味しいお米の獲れるゴールデン・トライアングル(黄金の三角形)と呼ばれています。いずれも豪雪地帯です。豪雪は大変なだけではなく恵みももたらす。

コンクール後、金賞受賞した飯山の青年と私に「米を高く売る、話が舞い込みました。金芽米で知られる東洋ライス(株)が我々の受賞玄米を一般価格の何倍もで買い取り、熟成・ブレンド後、「世界最高米」として世界最高価格で販売したいというのです。二人でお受けしました。

## 農業に科学を

もちろん、黄金の三角形地域でただ稲作して美味しい米が獲れるわけではありません。この写真は私がポンコツのバックホーで堆肥作りをしているところ。発酵モミガラ堆肥と石灰石由来の土壌中和剤(ピロール資材)を鋤きこんで土壌のフローラ・微生物を増やしているのです。その結果、うちの米は弱アルカリ性なんです。モミガラの珪酸が稲を丈夫にし、米の味をよくする。ピロール資材が土壌を中和するから、生きのよい米が獲れる=科学的根拠があると思います。科学は再現性にあります(母がよく「農業は難しい。年1回しか試せない」と言っていました)。しかし科学といえども勘が大切なことも代々の百姓ですから分かっています(父は「稲の顔を毎日見てやれ。稲は主に見てもらおうと喜ぶ」と言っていました)。

愛情をかけて育てると作物は応えてくれる——人を育てることと似ているなど実感します。これからも美味しい米作りに挑戦し続けたいと思います。

わいがやタイムにて講師が「橋を見ると鳥肌が立つ」と発せられました。橋も農も、あるいは誰彼私たちの日々日常も、講師曰くの「科学は必要」「勤や情熱・挑戦も必須」であることを出席者一同教えられました。



赤坂橋(長野市)今どき珍しいローゼ橋 2008撮影



飯山市、中央橋の架け替え時の様子(左:新、右:旧)



服部農園では発酵モミガラ堆肥とピロール農法に力を入れる



黄金の飯山市外様地区

